

- 問1 743年に出され、開墾した土地を永久に私有することを認めることで、土地の私有化を広めた法律を何という？
- 問2 奈良時代、政府による統制が強まる中で、民衆の間を巡り歩いて深く信仰を集めた宗教を何という？
- 問3 元明天皇が藤原京から都を移し、奈良時代が始まった年号は何という？
- 問4 防人として徴兵された農民たちは、主に日本のどの地方から選ばれていましたか？
- 問5 聖武天皇が鎮護国家の象徴として建立を命じた、奈良にある寺院を何という？
- 問6 奈良時代、仏教の力によって国を災いから守ろうとする思想を何という？
- 問7 令制国に派遣され、徴税や裁判といった地方の行政を担った官吏を何という？
- 問8 奈良時代末期に編纂された、現存する日本最古の歌集を何という？
- 問9 701年に制定され、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整える基礎となった律令を何という？
- 問10 人口増加により不足し、開墾のきっかけとなった、政府が農民に与えた土地を何という？
- 問11 710年に唐の都である長安をモデルにして建設された、奈良の都を何という？
- 問12 正倉院にゆかりの品々がおさまられている、奈良時代の天皇は誰？
- 問13 奈良時代に、中国の制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？
- 問14 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？
- 問15 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？
- 問16 郡司が指揮下に入っていた、中央から派遣された地方長官のことを何という？
- 問17 713年、国ごとに地理や産物などをまとめるように命じた天皇は誰？
- 問18 奈良時代、墾田永年私財法をきっかけに貴族や寺院が広大な土地を所有するようになった結果生まれた、私有地のことを何という？
- 問19 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？
- 問20 行基が協力したことで知られる、聖武天皇が国家の安泰を願って奈良に造営した巨大な仏像を何という？
- 問21 奈良時代の班田収授法において、政府が戸籍に基づき土地（口分田）を分け与える対象となったのは何歳以上の男女？
- 問22 郡司が行政に携わった、大宝律令などに基づく国家体制を何という？
- 問23 律令国家の統治体系として、中央から地方の国に派遣された役人を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え</b> <b>墾田永年私財法</b>	政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定しました。これにより、新しく開墾した土地の私有が永久に認められるようになりました。それまで制限されていた土地所有が可能となったため、人々は競って開墾を行い、生産性を高めようとしてきました。
問2	<b>答え</b> <b>仏教</b>	当時の仏教は、国家の公的な儀式のみならず、次第に一般民衆の生活や心にも浸透していきました。行基などの僧侶が、禁じられていた私的な布教活動を行い、民衆を救済するために活動したことで、広い層に広まりました。
問3	<b>答え</b> <b>710年</b>	710年、元明天皇は藤原京から平城京へ都を移しました。平城京は、大陸の都にならった碁盤の目状の区画（条坊制）を持ち、宮殿を中心に政治機能が集約された都市です。これにより、天皇を中心とした国家の威信を内外に示すとともに、官僚機構による効率的な統治が可能となりました。
問4	<b>答え</b> <b>東国</b>	当時の東国は馬の飼育や弓の技術に長けた者が多く、軍事的な実力が高く評価されていました。しかし、九州の防衛任務は3年という長期に及ぶ厳しいもので、遠く離れた地への赴任は農民たちに大きな負担を強いました。家族と別れ、命の保証もない任務に向かう彼らの苦悩は深く、多くの切ない歌が詠まれました。
問5	<b>答え</b> <b>東大寺</b>	東大寺は、743年の大仏造立の詔により、聖武天皇が中心となって建立されました。この寺は全国の国分寺の総本山としての役割を担い、鎮護国家の象徴として位置づけられました。完成した大仏は、当時の人々の信仰心を集め、国家統一の精神的な拠り所となりました。
問6	<b>答え</b> <b>鎮護国家</b>	鎮護国家とは、仏教の加護によって国を安定させ、平和を守ろうとする思想です。聖武天皇は、この思想を国家運営の柱とし、東大寺に巨大な大仏を造立しました。また、あわせて全国に国分寺や国分尼寺を建立させるなど、仏教による統治を強めました。
問7	<b>答え</b> <b>国司</b>	国司は、国府を拠点として、租庸調の徴収や公共事業、裁判など地方における行政実務を一手に担いました。これにより、中央政府の命令が地方のすみずみまで行き届く仕組みが完成しました。
問8	<b>答え</b> <b>万葉集</b>	万葉集は、奈良時代末期に大伴家持らによってまとめられたと言われる、日本最古の和歌集です。約4500首もの歌が収められており、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった庶民の歌も含まれているのが大きな特徴です。当時の人々の生活感情や社会の様子を知るための貴重な歴史資料となっています。
問9	<b>答え</b> <b>大宝律令</b>	701年に制定された大宝律令は、国家の基本となる法律であり、天皇を頂点とする中央政府と、その下に置かれる地方行政の組織や規則を定めました。これにより、戸籍の作成や租税の徴収、官僚の組織などが体系化され、律令国家としての体制が強固なものとなりました。
問10	<b>答え</b> <b>口分田</b>	口分田（くぶんでん）は、戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に政府が支給した耕作地です。農民はこの田から上がる収穫に対して税（租）を納める義務がありました。しかし、奈良時代に入ると人口が増加したため、国家が支給できる田が足りなくなり、新たな開墾が進められる要因となりました。
問11	<b>答え</b> <b>平城京</b>	平城京は、710年に元明天皇によって奈良の地に建設された都です。唐の都である長安をモデルにして設計され、天皇を中心とした政治体制を整えるための国家の拠点となりました。計画的に道路が配置され、貴族の邸宅や立派な寺院が立ち並び、当時としては非常に高いレベルの都市機能を持っていました。
問12	<b>答え</b> <b>聖武天皇</b>	聖武天皇は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。彼の没後、光明皇后がその冥福を祈り、愛用していた多くの品々を東大寺に奉納したものが、現在の正倉院の宝物となっています。
問13	<b>答え</b> <b>遣唐使</b>	遣唐使は、7世紀から9世紀にかけて、日本が唐へ派遣した公式の使節団です。留学生や学問僧らが同行し、唐の政治制度、仏教、建築、美術、音楽など、多岐にわたる先進的な知識を日本に持ち帰りました。これらは当時の日本社会を急速に発展させる原動力となりました。
問14	<b>答え</b> <b>班田収授法</b>	班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。
問15	<b>答え</b> <b>沿岸警備</b>	防人は、律令制における国防の要として、特に重要視された九州北部の防衛を任されました。農民の中から徴兵されて派遣されましたが、任期は長く、遠い故郷を離れて厳しい監視活動が続けなければなりません。彼らの任務は国の平穏を守るための最前線でした。
問16	<b>答え</b> <b>国司</b>	国司は、中央政府の意向を地方へ伝え、郡司を管理することで徴税や戸籍管理を行いました。郡司の実務を監視し、定期的に中央へ報告する義務がありました。
問17	<b>答え</b> <b>元明天皇</b>	第43代天皇で、710年の平城京遷都を実行しました。また、国家の歴史や伝承をまとめるために、太安万侶らに『古事記』の編纂を命じ、各地の地理や産物を記録する『風土記』の作成を命じました。国力を充実させ、安定した統治を目指した人物です。
問18	<b>答え</b> <b>荘園</b>	こうして形成された私有地が荘園です。有力者は税を逃れるために土地を荘園として確保し、支配力を強めました。これにより、天皇を中心とした全国の土地と民を直接支配する「公地公民」の制度が維持できなくなりました。
問19	<b>答え</b> <b>校倉造</b>	校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。
問20	<b>答え</b> <b>東大寺の大仏</b>	「東大寺の大仏」は、鎮護国家の精神を象徴する巨大な銅像です。完成には膨大な費用と人員が必要であり、聖武天皇は人望の厚い僧・行基に協力を仰ぎました。多くの民衆や貴族が造営に関わり、ようやく完成しました。
問21	<b>答え</b> <b>6歳以上</b>	戸籍（庚午年籍など）を6年ごとに作り直し、6歳以上の男女に対して、身分や性別に応じた広さの口分田を貸し出しました。この制度により、政府は確実な徴税を目指しました。
問22	<b>答え</b> <b>律令国家</b>	律令国家では、公地公民の原則に基づき、戸籍を作成して人々に税を課しました。中央では二官八省が行政を担い、地方では国司と郡司が行政の実務を行うシステムが構築されました。
問23	<b>答え</b> <b>国司</b>	国司は、その土地の税の徴収や戸籍の管理、裁判など、地方行政全般を担いました。任期を定めて中央から派遣することで、地方での権力固着を防ぐ仕組みとなっていました。

- 問1 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？
- 問2 人口増加により不足し、開墾のきっかけとなった、政府が農民に与えた土地を何という？
- 問3 約4500首もの多様な階層の歌が収められている、日本最古の歌集を何という？
- 問4 遣唐使が日本へ招いた、苦難の末に来日して日本の仏教に大きな影響を与えた僧侶は誰？
- 問5 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？
- 問6 奈良時代、仏教の力によって国を災いから守ろうとする思想を何という？
- 問7 天皇を中心として、国司や郡司などの仕組みを整えて全国を支配した国家体制を何という？
- 問8 正倉院にゆかりの品々がおさまられている、奈良時代の天皇は誰？
- 問9 奈良時代、唐の文化の影響を強く受けて華やかに発展した文化を何という？
- 問10 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？
- 問11 東大寺にあり、当時の国際色豊かな宝物が数多く収められている施設を何という？
- 問12 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？
- 問13 防人として徴兵された農民たちは、主に日本のどの地方から選ばれていましたか？
- 問14 聖武天皇の時代に奈良を中心に栄えた、唐や西アジアの文化の影響を受けた国際色豊かな文化を何という？
- 問15 土地や人民を国家が支配し、法に基づいて政治を行う仕組みを何という？
- 問16 713年、国ごとに地理や産物などをまとめるように命じた天皇は誰？
- 問17 710年に唐の都である長安をモデルにして建設された、奈良の都を何という？
- 問18 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？
- 問19 朝廷が令制国ごとの土地の由来や産物などを記録させた地理書を何という？
- 問20 743年に出され、開墾した土地を永久に私有することを認めることで、土地の私有化を広めた法律を何という？
- 問21 743年に発令され、新しく開墾した土地の永代私有を認めることで、土地の私有化を推進した法律を何という？
- 問22 奈良時代、租庸調の税を納める際に、荷物の内容や送り主などを記すために使われた木製の札は何という？
- 問23 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 平城京	710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並び、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。
問2	答え 口分田	口分田（くぶんでん）は、戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に政府が支給した耕作地です。農民はこの田から上がる収穫に対して税（租）を納める義務がありました。しかし、奈良時代に入ると人口が増加したため、国家が支給できる田が足りなくなり、新たな開墾が進められる要因となりました。
問3	答え 万葉集	万葉集は、奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集です。約4500首という膨大な歌が収められており、その中には天皇や貴族だけでなく、兵士である防人や農民といった、普段は歴史の記録に残りにくい人々の歌も含まれていることが大きな特徴です。素朴で力強い感情表現が多用されていることから、当時の人々の息吹を直接感じることができる資料です。
問4	答え 鑑真	鑑真は唐で名高い高僧でしたが、日本の僧侶からの要請に応え、5回もの失敗や失明という苦難を乗り越えて6回目にようやく来日を果たしました。奈良の東大寺に戒壇を築き、多くの僧に戒律を授けました。また、その後には唐招提寺を開いています。
問5	答え 持統天皇	日本書紀は、奈良時代の720年に完成した歴史書です。神話の時代から始まり、持統天皇の時代までの歴史を詳細に記しています。中国の歴史書の記述様式を取り入れ、非常に精緻な記録となっています。
問6	答え 鎮護国家	鎮護国家とは、仏教の加護によって国を安定させ、平和を守ろうとする思想です。聖武天皇は、この思想を国家運営の柱とし、東大寺に巨大な大仏を造立しました。また、あわせて全国に国分寺や国分尼寺を建立させるなど、仏教による統治を強めました。
問7	答え 律令国家	律令国家とは、法律（律と令）に基づき、官僚組織を整えて全国を支配する体制です。中央には太政官などの行政機関、地方には国・郡・里を設置し、中央から役人を派遣しました。この仕組みにより、戸籍を作成して人々に税を課し、中央政府が全国の土地と人民を把握する支配構造を実現しました。
問8	答え 聖武天皇	聖武天皇は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。彼の没後、光明皇后がその冥福を祈り、愛用していた多くの品々を東大寺に奉納したものが、現在の正倉院の宝物となっています。
問9	答え 天平文化	天平文化は、東大寺大仏の建立や唐招提寺のような壮麗な建築、精巧な仏像彫刻などが特徴です。また、『古事記』や『日本書紀』の編纂など、歴史書や文学においても大きな発展が見られました。
問10	答え 班田収授法	班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。
問11	答え 正倉院	正倉院は校倉造という独特の建築様式で建てられ、湿度の変化に応じて木材が伸縮することで内部の環境を一定に保つ工夫がなされています。ここには、天皇の愛用品だけでなく、当時の楽器や文書、世界各地からの貢ぎ物など、天平文化の粋が集められています。
問12	答え 平城京	710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。中国の唐の都である長安を手本にして設計され、整然とした道路が碁盤の目状に配置されていました。政治・経済の中心地として繁栄し、遣唐使などによって国際的な文化が開かれました。
問13	答え 東国	当時の東国は馬の飼育や弓の技術に長けた者が多く、軍事的な実力が高く評価されていました。しかし、九州の防衛任務は3年という長期に及ぶ厳しいもので、遠く離れた地への赴任は農民たちに大きな負担を強いました。家族と別れ、命の保証もない任務に向かう彼らの苦悩は深く、多くの切ない歌が詠まれました。
問14	答え 天平文化	天平文化は、聖武天皇を中心とする貴族や仏教が主導した文化です。唐の影響だけでなく、シルクロードを通じて伝わった西アジアの文化の影響も強く見られ、国際的で豪華な特徴を持っています。代表例として、東大寺の大仏建立や、正倉院に保管されている宝物などがあります。
問15	答え 律令制	律令制は、中央に省を置く官僚機構や、地方への国司の派遣、戸籍をもとにした班田収授法などの制度によって構成されています。これにより、国家による土地と人民の直接的な統治が実現しました。
問16	答え 元明天皇	第43代天皇で、710年の平城京遷都を実行しました。また、国家の歴史や伝承をまとめるために、太安万侶らに『古事記』の編纂を命じ、各地の地理や産物を記録する『風土記』の作成を命じました。国力を充実させ、安定した統治を目指した人物です。
問17	答え 平城京	平城京は、710年に元明天皇によって奈良の地に建設された都です。唐の都である長安をモデルにして設計され、天皇を中心とした政治体制を整えるための国家の拠点となりました。計画的に道路が配置され、貴族の邸宅や立派な寺院が立ち並び、当時としては非常に高いレベルの都市機能を持っていました。
問18	答え 校倉造	校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。
問19	答え 風土記	風土記には、その土地の名前の由来、特産物、地形、古い伝承などが詳しく記されています。現存するものとしては、『出雲国風土記』が非常に詳しいことで知られています。
問20	答え 墾田永年私財法	政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定しました。これにより、新しく開墾した土地の私有が永久に認められるようになりました。それまで制限されていた土地所有が可能となったため、人々は競って開墾を行い、生産性を高めようとしていました。
問21	答え 墾田永年私財法	743年に制定された墾田永年私財法は、新しく開墾した土地を一定の条件のもとで永久に私有することを認めた制度です。それまでの「公地公民」の原則を大きく転換し、貴族や寺院による土地開発を促進しました。
問22	答え 木簡	木簡は主に松や杉などの板を薄く削って作られ、墨で文字が書かれました。これには税の品目や産地、送り主などが記されており、現在の配送伝票のような役割を果たしました。
問23	答え 万葉集	万葉集は、現存する日本最古の和歌集です。歌人としても有名な大伴家持が編纂に大きく貢献したとされており、奈良時代末期までに完成しました。収録されている歌は、天皇から防人、農民まで非常に幅広い階層の人々によって詠まれたものであり、当時の多様な人々の感情や生活文化が生生きと表現されています。

- 問1 シルクロードを経て伝わった宝物や唐の工芸品が収められ、現在も東大寺にある施設は何という？
- 問2 奈良時代、政府による統制が強まる中で、民衆の間を巡り歩いて深く信仰を集めた宗教を何という？
- 問3 奈良時代、墾田永年私財法をきっかけに貴族や寺院が広大な土地を所有するようになった結果生まれた、私有地のことを何という？
- 問4 防人たちが詠んだ歌などが収められている、日本最古の歌集を何という？
- 問5 聖武天皇の時代に奈良を中心に栄えた、唐や西アジアの文化の影響を受けた国際色豊かな文化を何という？
- 問6 郡司が行政に携わった、大宝律令などに基づく国家体制を何という？
- 問7 奈良時代の九州地方に派遣され、防衛の任務についた兵士を何という？
- 問8 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？
- 問9 701年に制定され、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整える基礎となった律令を何という？
- 問10 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？
- 問11 平城京の設計のモデルとなった、唐の都の名前を何という？
- 問12 律令国家の統治体系として、中央から地方の国に派遣された役人を何という？
- 問13 8世紀初めに編纂された、神話から推古天皇までの日本の成り立ちを記した歴史書を何という？
- 問14 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？
- 問15 防人として徴兵された農民たちは、主に日本のどの地方から選ばれていましたか？
- 問16 律令制において、郡の長として地方の政治を担った有力者を何という？
- 問17 東大寺にあり、当時の国際色豊かな宝物が数多く収められている施設を何という？
- 問18 713年、国ごとに地理や産物などをまとめるように命じた天皇は誰？
- 問19 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？
- 問20 聖武天皇が鎮護国家を目的として、全国各地に建立させた官立の寺院を何という？
- 問21 奈良時代末期に編纂された、現存する日本最古の歌集を何という？
- 問22 710年に唐の都である長安をモデルにして建設された、奈良の都を何という？
- 問23 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 正倉院	聖武天皇が亡くなった際、光明皇后が天皇をしのんで東大寺に奉納した品々を収めた校倉造りの建物です。楽器や鏡、美術品など、当時の国際交流を物語る非常に貴重な宝物が数多く保管されています。
問2	答え 仏教	当時の仏教は、国家の公的な儀式のみならず、次第に一般民衆の生活や心にも浸透していきました。行基などの僧侶が、禁じられていた私的な布教活動を行い、民衆を救済するために活動したことで、広い層に広まりました。
問3	答え 荘園	こうして形成された私有地が荘園です。有力者は税を逃れるために土地を荘園として確保し、支配力を強めました。これにより、天皇を中心として全国の土地と民を直接支配する「公地公民」の制度が維持できなくなりました。
問4	答え 万葉集	万葉集は、約4500首の歌を収めた日本最古の歌集です。特徴は、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった一般庶民の素朴で力強い感情がそのまま記されている点にあります。防人が詠んだ「防人の歌」には、国を守る誇りと家族への思慕が混ざり合い、当時の社会の現実がリアルに表現されています。
問5	答え 天平文化	天平文化は、聖武天皇を中心とする貴族や仏教が主導した文化です。唐の影響だけでなく、シルクロードを通じて伝わった西アジアの文化の影響も強く見られ、国際的で豪華な特徴を持っています。代表例として、東大寺の大仏建立や、正倉院に保管されている宝物などがあります。
問6	答え 律令国家	律令国家では、公地公民の原則に基づき、戸籍を作成して人々に税を課しました。中央では二官八省が行政を担い、地方では国司と郡司が行政の実務を行うシステムが構築されました。
問7	答え 防人	防人は、大和朝廷が九州地方の防衛のために配置した兵士です。主に東国（現在の関東地方）の農民から徴兵され、長期間の任期で現地に派遣されました。万葉集には、故郷を離れる寂しさや任務の過酷さを歌った防人の歌が多く収められており、当時の人々の苦しい生活の様子を今に伝えています。
問8	答え 平城京	710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。中国の唐の都である長安を手本にして設計され、整然とした道路が碁盤の目状に配置されていました。政治・経済の中心地として繁栄し、遣唐使などによって国際的な文化が開花しました。
問9	答え 大宝律令	701年に制定された大宝律令は、国家の基本となる法律であり、天皇を頂点とする中央政府と、その下に置かれる地方行政の組織や規則を定めました。これにより、戸籍の作成や租税の徴収、官僚の組織などが体系化され、律令国家としての体制が強固なものとなりました。
問10	答え 班田収授法	班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。
問11	答え 長安	長安は、当時の中国の首都であり、碁盤の目状にきれいに区画された都市構造を持っていました。日本はこの長安の計画を参考に、平城京を建設しました。中央に朱雀大路という広い通りを通し、東西の市（市場）を配置するなど、国家の権威を象徴する都市づくりが行われました。
問12	答え 国司	国司は、その土地の税の徴収や戸籍の管理、裁判など、地方行政全般を担いました。任期を定めて中央から派遣することで、地方での権力固着を防ぐ仕組みとなっていました。
問13	答え 古事記	
問14	答え 郡司	「郡司」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。かつて地方の有力豪族であった人々が任命されました。都から派遣された「国司」をサポートし、税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。
問15	答え 東国	当時の東国は馬の飼育や弓の技術に長けた者が多く、軍事的な実力が高く評価されていました。しかし、九州の防衛任務は3年という長期に及ぶ厳しいもので、遠く離れた地への赴任は農民たちに大きな負担を強いました。家族と別れ、命の保証もない任務に向かう彼らの苦悩は深く、多くの切ない歌が詠まれました。
問16	答え 豪族	郡司は、国司の指揮下に入り、戸籍の作成や徴税の補助といった行政の実務を行いました。終身制であったため、現地の地盤を持つ豪族たちがその地位を世襲的に継承することが一般的でした。
問17	答え 正倉院	正倉院は校倉造という独特の建築様式で建てられ、湿度の変化に応じて木材が伸縮することで内部の環境を一定に保つ工夫がなされています。ここには、天皇の愛用品だけでなく、当時の楽器や文書、世界各地からの貢ぎ物など、天平文化の粋が集められています。
問18	答え 元明天皇	第43代天皇で、710年の平城京遷都を行いました。また、国家の歴史や伝承をまとめるために、太安万侶らに『古事記』の編纂を命じ、各地の地理や産物を記録する『風土記』の作成を命じました。国力を充実させ、安定した統治を目指した人物です。
問19	答え 持統天皇	日本書紀は、奈良時代の720年に完成した歴史書です。神話の時代から始まり、持統天皇の時代までの歴史を詳細に記しています。中国の歴史書の記述様式を取り入れ、非常に精緻な記録となっています。
問20	答え 国分寺	国分寺は、聖武天皇が全国60余国に命じて建てさせた寺院です。各国の国分寺と国分尼寺は、東大寺を総本山とするネットワークの一部として機能しました。これにより、地方にまで仏教の教えと国家の影響力を浸透させ、仏の力で国の安定を図りました。
問21	答え 万葉集	万葉集は、奈良時代末期に大伴家持らによってまとめられたと言われる、日本最古の和歌集です。約4500首もの歌が収められており、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった庶民の歌も含まれているのが大きな特徴です。当時の人々の生活感情や社会の様子を知るための貴重な歴史資料となっています。
問22	答え 平城京	平城京は、710年に元明天皇によって奈良の地に建設された都です。唐の都である長安をモデルにして設計され、天皇を中心とした政治体制を整えるための国家の拠点となりました。計画的に道路が配置され、貴族の邸宅や立派な寺院が立ち並び、当時としては非常に高いレベルの都市機能を持っていました。
問23	答え 校倉造	校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。

- 問1 律令制度のもと、中央政府から地方に派遣されて郡司を指揮し、各地の統治を担当した役人を何という？
- 問2 鎮護国家の思想のもとで制作された、興福寺にあるこの時代を代表する仏教彫刻を何という？
- 問3 奈良時代、人口増加に伴う口分田の不足を解消するために、開墾した土地の永代私有を認めた法律を何という？
- 問4 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？
- 問5 奈良時代の班田収授法において、政府が戸籍に基づき土地（口分田）を分け与える対象となったのは何歳以上の男女？
- 問6 郡司が行政に携わった、大宝律令などに基づく国家体制を何という？
- 問7 大化の改新以降、土地や人々はすべて天皇（国家）のものであるとする原則を何という？
- 問8 743年に出され、開墾した土地を永久に私有することを認めることで、土地の私有化を広めた法律を何という？
- 問9 710年に唐の都である長安をモデルにして建設された、奈良の都を何という？
- 問10 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？
- 問11 唐だけでなく、シルクロードを経由して日本に影響を与えた地域の文化を何という？
- 問12 防人として徴兵された農民たちは、主に日本のどの地方から選ばれていましたか？
- 問13 聖武天皇の時代に奈良を中心に栄えた、唐や西アジアの文化の影響を受けた国際色豊かな文化を何という？
- 問14 律令制において、郡の長として地方の政治を担った有力者を何という？
- 問15 奈良時代、政府による統制が強まる中で、民衆の間を巡り歩いて深く信仰を集めた宗教を何という？
- 問16 奈良時代、租庸調の税を納める際に、荷物の内容や送り主などを記すために使われた木製の札は何という？
- 問17 防人たちが詠んだ歌などが収められている、日本最古の歌集を何という？
- 問18 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？
- 問19 奈良時代の班田収授法において、政府から農民一人ひとりに分け与えられた田を何という？
- 問20 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？
- 問21 遣唐使の船が日本から中国へ向かう際、多くの遭難者を出した荒れる海域を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 国司	国司は都から派遣された貴族階級の官僚で、現地の有力者である郡司を指導し、税の徴収や戸籍の管理、治安維持を行いました。地方行政の最高責任者として大きな権力を持っていました。
問2	答え 阿修羅像	奈良の興福寺にある「八部衆像」の一つで、乾漆造という手法で作られています。少年のように憂いを含んだ繊細な表情が特徴で、日本だけでなく世界的に非常に高く評価されている傑作です。
問3	答え 墾田永年私財法	743年に制定された墾田永年私財法は、新しく開墾した土地の永代私有を認めるものです。それまでは一定期間後に土地を返還するルールでしたが、この法律により私有が認められたことで、農民や有力者による開墾が活発になりました。
問4	答え 沿岸警備	防人は、律令制における国防の要として、特に重要視された九州北部の防衛を任されました。農民の中から徴兵されて派遣されましたが、任期は長く、遠い故郷を離れて厳しい監視活動を続けなければなりません。彼らの任務は国の平穏を守るための最前線でした。
問5	答え 6歳以上	戸籍（庚午年籍など）を6年ごとに作り直し、6歳以上の男女に対して、身分や性別に応じた広さの口分田を貸し出しました。この制度により、政府は確実な徴税を目指しました。
問6	答え 律令国家	律令国家では、公地公民の原則に基づき、戸籍を作成して人々に税を課しました。中央では二官八省が行政を担い、地方では国司と郡司が行政の実務を行うシステムが構築されました。
問7	答え 公地公民	公地公民とは、すべての土地と人民を国家が直接管理し、公的なものとする原則です。これにより戸籍を作り、国民に田地を分け与えることで、税を徴収する仕組みを整えました。
問8	答え 墾田永年私財法	政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定しました。これにより、新しく開墾した土地の私有が永久に認められるようになりました。それまで制限されていた土地所有が可能となったため、人々は競って開墾を行い、生産性を高めようとしてきました。
問9	答え 平城京	平城京は、710年に元明天皇によって奈良の地に建設された都です。唐の都である長安をモデルにして設計され、天皇を中心とした政治体制を整えるための国家の拠点となりました。計画的に道路が配置され、貴族の邸宅や立派な寺院が立ち並び、当時としては非常に高いレベルの都市機能を持っていました。
問10	答え 平城京	710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並び、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。
問11	答え 西アジア	日本が派遣した遣唐使を通じて、唐には西アジアのペルシャ文化やインドの仏教美術などが流入していました。それらは日本にも伝わり、東大寺の正倉院に収められている宝物の中に、ガラス器や独特の模様が施された品々として確認できます。
問12	答え 東国	当時の東国は馬の飼育や弓の技術に長けた者が多く、軍事的な実力が高く評価されていました。しかし、九州の防衛任務は3年という長期に及ぶ厳しいもので、遠く離れた地への赴任は農民たちに大きな負担を強いました。家族と別れ、命の保証もない任務に向かう彼らの苦悩は深く、多くの切ない歌が詠まれました。
問13	答え 天平文化	天平文化は、聖武天皇を中心とする貴族や仏教が主導した文化です。唐の影響だけでなく、シルクロードを通じて伝わった西アジアの文化の影響も強く見られ、国際的で豪華な特徴を持っています。代表例として、東大寺の大仏建立や、正倉院に保管されている宝物などがあります。
問14	答え 豪族	郡司は、国司の指揮下に入り、戸籍の作成や徴税の補助といった行政の実務を行いました。終身制であったため、現地の地盤を持つ豪族たちがその地位を世襲的に継承することが一般的でした。
問15	答え 仏教	当時の仏教は、国家の公的な儀式のみならず、次第に一般民衆の生活や心にも浸透していきました。行基などの僧侶が、禁じられていた私的な布教活動を行い、民衆を救済するために活動したことで、広い層に広まりました。
問16	答え 木簡	木簡は主に松や杉などの板を薄く削って作られ、墨で文字が書かれました。これには税の品目や産地、送り主などが記されており、現在の配送伝票のような役割を果たしました。
問17	答え 万葉集	万葉集は、約4500首の歌を収めた日本最古の歌集です。特徴は、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった一般庶民の素朴で力強い感情がそのまま記されている点にあります。防人が詠んだ「防人の歌」には、国を守る誇りと家族への思慕が混ざり合い、当時の社会の現実がリアルに表現されています。
問18	答え 万葉集	万葉集は、現存する日本最古の和歌集です。歌人としても有名な大伴家持が編纂に大きく貢献したとされており、奈良時代末期までに完成しました。収録されている歌は、天皇から防人、農民まで非常に幅広い階層の人々によって詠まれたものであり、当時の多様な人々の感情や生活文化が生き生きと表現されています。
問19	答え 口分田	6歳以上の男女に与えられ、その代償として農民は租・庸・調などの税を納める義務を負いました。農民の死後は国に返還する決まりとなっていました。この土地で稲を栽培し、国の財政を支える仕組みでした。
問20	答え 持統天皇	日本書紀は、奈良時代の720年に完成した歴史書です。神話の時代から始まり、持統天皇の時代までの歴史を詳細に記しています。中国の歴史書の記述様式を取り入れ、非常に精緻な記録となっています。
問21	答え 東シナ海	東シナ海は波が荒く、また気象観測技術も未熟だったため、渡航は命がけの作業でした。特に大陸へ向かう際は、季節風や海流の影響を大きく受け、多くの留学生や僧侶が海に没しました。無事に到着できたのは一部の船のみということも珍しくありませんでした。

- 問1 平城京の設計のモデルとなった、唐の都の名前を何という？
- 問2 701年に制定され、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整える基礎となった律令を何という？
- 問3 奈良時代、仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化を栄えさせた天皇は誰？
- 問4 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？
- 問5 防人たちが詠んだ歌などが収められている、日本最古の歌集を何という？
- 問6 大化の改新以降、土地や人民はすべて国家のものであるとした原則を何という？
- 問7 唐の進んだ政治制度を取り入れ、戸籍に基づき天皇を中心とした強力な国家体制を整えるための法体系を何という？
- 問8 奈良時代、租庸調の税を納める際に、荷物の内容や送り主などを記すために使われた木製の札は何という？
- 問9 仏教の力で国家の安定を図るため、全国に国分寺の建立を命じた天皇は誰？
- 問10 シルクロードを経て伝わった宝物や唐の工芸品が収められ、現在も東大寺にある施設は何という？
- 問11 行基が協力したことで知られる、聖武天皇が国家の安泰を願って奈良に造営した巨大な仏像を何という？
- 問12 奈良時代に、中国の制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？
- 問13 奈良時代の僧・行基が、民衆のために橋の架設、池の造成、道路整備などを行った活動を総称して何という？
- 問14 奈良時代の九州地方に派遣され、防衛の任務についた兵士を何という？
- 問15 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？
- 問16 奈良時代、人口増加に伴う口分田の不足を解消するために、開墾した土地の永代私有を認めた法律を何という？
- 問17 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？
- 問18 大化の改新以降、土地や人々はすべて天皇（国家）のものであるとする原則を何という？
- 問19 律令制度において、神祇官と共に二官の一つとして行政の統括を担った機関を何という？
- 問20 戸籍に基づいて人々に口分田を与え、死後には国に返させるという奈良時代の土地制度を何という？
- 問21 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 長安	長安は、当時の中国の首都であり、碁盤の目状にきれいに区画された都市構造を持っていました。日本はこの長安の計画を参考に、平城京を建設しました。中央に朱雀大路という広い通りを通し、東西の市（市場）を配置するなど、国家の権威を象徴する都市づくりが行われました。
問2	答え 大宝律令	701年に制定された大宝律令は、国家の基本となる法律であり、天皇を頂点とする中央政府と、その下に置かれる地方行政の組織や規則を定めました。これにより、戸籍の作成や租税の徴収、官僚の組織などが体系化され、律令国家としての体制が強固なものとなりました。
問3	答え 聖武天皇	聖武天皇は熱心な仏教徒で、仏教による国の守り（鎮護国家）を理想としました。彼が中心となって栄えた文化は「天平文化」と呼ばれ、遣唐使を通じて唐や西域の文化を積極的に取り入れました。
問4	答え 聖武天皇	聖武天皇は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。彼の没後、光明皇后がその冥福を祈り、愛用していた多くの品々を東大寺に奉納したものが、現在の正倉院の宝物となっています。
問5	答え 万葉集	万葉集は、約4500首の歌を収めた日本最古の歌集です。特徴は、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった一般庶民の素朴で力強い感情がそのまま記されている点にあります。防人が詠んだ「防人の歌」には、国を守る誇りと家族への思慕が混ざり合い、当時の社会の現実がリアルに表現されています。
問6	答え 公地公民	7世紀の「大化の改新」によって打ち出された政策です。すべての土地を「公地」、すべての人民を「公民」と定義し、国家が直接管理することを目指しました。これにより班田収授法が成立し、税の徴収が計画されました。
問7	答え 中央集権	唐の律令制度を模範として、戸籍を作成し、国司を地方に派遣して全国を支配する体制を整えました。天皇が全権を握り、官僚を通じて地方まで法律や税を平等に行き渡らせる政治構造です。
問8	答え 木簡	木簡は主に松や杉などの板を薄く削って作られ、墨で文字が書かれました。これには税の品目や産地、送り主などが記されており、現在の配送伝票のような役割を果たしました。
問9	答え 聖武天皇	聖武天皇は、仏教の慈悲の力によってこの苦難を乗り越えようと考え、「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺と国分尼寺を建てることを命じました。また、東大寺に巨大な大仏を造るなど、壮大な国家プロジェクトを主導しました。その信心深さとスケールの大きさは天平文化の頂点を示しています。
問10	答え 正倉院	聖武天皇が亡くなった際、光明皇后が天皇をしのんで東大寺に奉納した品々を収めた校倉造りの建物です。楽器や鏡、美術品など、当時の国際交流を物語る非常に貴重な宝物が数多く保管されています。
問11	答え 東大寺の大仏	「東大寺の大仏」は、鎮護国家の精神を象徴する巨大な銅像です。完成には膨大な費用と人員が必要であり、聖武天皇は人望の厚い僧・行基に協力を仰ぎました。多くの民衆や貴族が造営に関わり、ようやく完成しました。
問12	答え 遣唐使	遣唐使は、7世紀から9世紀にかけて、日本が唐へ派遣した公式の使節団です。留学生や学問僧らが同行し、唐の政治制度、仏教、建築、美術、音楽など、多岐にわたる先進的な知識を日本に持ち帰りました。これらは当時の日本社会を急速に発展させる原動力となりました。
問13	答え 社会事業	「社会事業」は、行基が全国各地を回り、民衆の生活を助けるために行ったインフラ整備を指します。橋を架け、道路を直し、ため池を作るといった活動は、農地の拡大や流通の促進に役立ちました。こうした行動は人々の暮らしを具体的に改善し、当時の朝廷から弾圧を受けながらも圧倒的な民衆の支持を得ました。
問14	答え 防人	防人は、大和朝廷が九州地方の防衛のために配置した兵士です。主に東国（現在の関東地方）の農民から徴兵され、長期間の任期で現地に派遣されました。万葉集には、故郷を離れる寂しさや任務の過酷さを歌った防人の歌が多く収められており、当時の人々の苦しい生活の様子を今に伝えています。
問15	答え 平城京	710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。中国の唐の都である長安を手本にして設計され、整然とした道路が碁盤の目状に配置されていました。政治・経済の中心地として繁栄し、遣唐使などによって国際的な文化が開花しました。
問16	答え 墾田永年私財法	743年に制定された墾田永年私財法は、新しく開墾した土地の永代私有を認めるものです。それまでは一定期間後に土地を返還するルールでしたが、この法律により私有が認められたことで、農民や有力者による開墾が活発になりました。
問17	答え 沿岸警備	防人は、律令制における国防の要として、特に重要視された九州北部の防衛を任されました。農民の中から徴兵されて派遣されましたが、任期は長く、遠い故郷を離れて厳しい監視活動を続けなければなりません。彼らの任務は国の平穏を守るための最前線でした。
問18	答え 公地公民	公地公民とは、すべての土地と人民を国家が直接管理し、公的なものとする原則です。これにより戸籍を作り、国民に田地を分け与えることで、税を徴収する仕組みを整えました。
問19	答え 太政官	太政官は、八省を統括し、国政の運営を担当する最高機関です。長官である太政大臣を中心に、左大臣、右大臣などが政治の実務を行いました。
問20	答え 班田収授法	班田収授法は、戸籍を作成して6歳以上のすべての人々に「口分田」と呼ばれる土地を分け与える制度です。受け取った人は、その見返りとして租・庸・調などの税を納める義務を負いました。本人が死亡したときには、その土地を国に返却する仕組みです。この土地制度により、国家による民衆の把握が徹底されました。
問21	答え 郡司	「郡司」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。かつて地方の有力豪族であった人々が任命されました。都から派遣された「国司」をサポートし、税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。